

校 報

第 2 4 1 号
令和5.10.17
鳥 羽 商 船
高 等 専 門 学 校

校 長 挨 拶

みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

地球温暖化による気候変動と言われ、海水温上昇による気象や生物への影響、線状降水帯による大雨など落ち着かない諸問題があります。一方で、秋口になって時期到来とアキアカネが飛び、9月23日秋分の日に鳥羽市内を歩いていると、道すがら曼珠沙華が満開、鹿の甲高い鳴き声も赤崎界限で聞くことができました。季節感と暦は自然がしっかり支えてくれています。

今夏、4年ぶりの遠洋航海に恵まれた商船学科6年生（実習生）、8月10日にシンガポール（星港）に向けて海技教育機構の練習船「銀河丸」で東京港晴海埠頭から出航し（写真1）、9月10日に大阪港で下船して1万キロを超える1か月の航海を無事に修了しました。シンガポールでの上陸を含めて今後の糧となること多く学んだことと信じます。

8月10日の東京晴海の出航式では、富山、鳥羽、大島、広島、弓削、海技大の各学校を代表して本校校長が挨拶しました。そこでは、「自強不息（自彊不息）」、自らつとめ励んでやまない、自分を向上させることを怠らない、ことを心構えとして話しました。易经という古代中国の書にあり、今の中国でも大学の学内などで頻繁に目にします。教えは大切にされています。



写真1 8/10東京港晴海埠頭 遠洋航海に出航する銀河丸

9月22日には、伊勢市内五十鈴ヶ丘駅近くの「いせトピア多目的ホール」で第52回商船学科卒業証書授与式を迎え、第16回目を数える海事システム学専攻科修了学生とともにそれぞれの進路に向けて新たな船出をしていきました。ニュース番組でも放映されましたので御覧になった方々もおられるでしょう。海運各社含め36名のご来賓のご来場と19通の祝電をいただき、卒業生、修了生に大きな励みとなりました。

来る10月1日からは、今度は4年生の機関コース学生が「銀河丸」、航海コース学生が「日本丸」に乗船して実習航海に向けて出航します。安航を祈念します。

令和7年の3月に就航予定の練習船「鳥羽丸代船」については造船所での起工式が12月に予定されています。池の浦の浮き桟橋も更新架け替えとなります。災害支援機能を備えており、南北に連なる沿岸域と山間部と島嶼域をもつ三重県はじめ、地域の災害時の支援活動の一助となるべく必要な機装と仕様を備えています。

さらに学内に目を向けると今夏には、文部科学省の数理・データサイエンスAI教育プログラム認定制度において本校情報機械システム工学科が応用基礎レベルに認定されました。本年7月21日に報道発表されましたように、本校は（独）大学改革支援・学位授与機構が募集した大学・高専機能強化支援事業に採択され、大学・高専成長分野転換支援基金により、情報機械システム工学科に高度情報専門人材の確保に向けた機能強化として高度情報工学コースを設けることを計画しています。そこでは、生成系AI、サイバーセキュリティ、DX、データサイエンス、UI/UX/デザインをメインストリームとして、多様な事象を扱うこととし、1年時からPBLプロジェクトに参画させ、本校の特徴として海事・海洋DXの課題やスマート水産・農業、GXなどの課題に展開することとしています。インターンシップや地域や産業界と交わる環境を多様に提供し、学年縦断型のチーム編成と、IT産業技術者と交わることで主体的な思考の経験知を身に付け、新たな価値を創造する力、対立やジレンマに対処する力、責任ある行動をとる力と高度情報スキルを相乗させることとしており、ネットワーク環境のもと学びの場として集中できる個人ブースや議論の場を教室に限定せず、教育訓練を行うメタバース（仮想空間）を整備する計画です。学生寮の室数の増室については、すでに令和6年度に向けて「多文化交流生活寮」として留学生含め混住型寮の新営を要求しているところですが、新コース設置により、寮建設の早期成就を念願しているところです。

グローバル教育推進室を中心に今後の海外との交流の強化を進めていきます。今夏のハワイのカウアイコミュニティカレッジ(Kauai CC)への短期研修や文部科学省のトビタテ！留学JAPANなどを海外派遣の再開の端緒として、多様な方法でアジ

アのみならずひろく多文化のもとで学修見聞をしてほしいと願っています。写真は今夏に学会参加した際の仏ノルマンディー・カーン市内です（写真2）。諸外国の成熟した社会は一見の価値があります。もうひとつ、もう10年以上前ですが、2011年ノルウェーのスタバングル沖で当時は世界で最新の浮体式洋上風力発電施設（茶柱型）を視察した際の画像です（写真3）。高専機構でも、グローバルエンジニアの育成として、学生みなさんが数多く、海外を経験できるように、活動を支援し、海外留学をはじめ、

幅広い活動（海外で授業を受ける、PBLをする、企業でインターンシップをするなど）の機運を醸成し、高専全体の国際化を進めるとしています。これからはタイ国の高専からの留学生も数多く来日が予定されており、国内外でグローバルな環境のもと、学びと生活を体験できることも期待されます。

12月は第58回海学祭ですね。テーマは「夢限の彩り」と聞いています。おおいに夢を描き楽しみましょう。楽しみにしています。



写真2 8/31 Caen市内



写真3 2011年ノルウェー Stavanger

